

平成29年度 成人市中肺炎の重症度別患者数

I 定義

- ・この集計での成人とは20歳以上の患者さまを指します。
- ・市中肺炎とは、普段の生活の中で罹患した肺炎を指します。
- ・入院契機傷病名および最も医療資源を投入した傷病名が、ICD-10コードがJ13～J18であるものが対象です。
- ・重症度は市中肺炎ガイドラインによる重症度分類システム（A-DROP）により分類しています。

- | |
|-------------------------------|
| 1.男性 \geq 70歳、女性 \geq 75歳 |
| 2.BUN \geq 21または脱水あり |
| 3.酸素飽和度 \leq 90% |
| 4.意識障害（肺炎に由来する） |
| 5.sBP \leq 90mmHG |

- ・肺炎重症度分類の7桁目=5に相当するデータを対象とします。

II 解説

重症度1、重症度2の症例件数が多くなっています。

重症度が高いほど、平均年齢も上がる傾向があります。

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
重症度0	1	7.0	40.0
重症度1	11	17.8	83.0
重症度2	10	18.7	83.1
重症度3	3	30.7	91.0
重症度4	-	-	-
重症度5	-	-	-
不明	-	-	-